

## 🌻遠足の意義を考えてみると

今さらながらですが、遠足の意義を考えてみました。

本校ではGW直前の金曜日、4月28日に春の遠足があり、1、6年生は、B&G海洋センター・北新地グラウンドへ、2、5年生は、呉ポートピアパークへ、3、4年生は、横浜公園へ行きました。本校に限らず、この時期は遠足に出かける学校が全国的に多いと思います。

Web版の「ブリタニカ国際大百科事典」を見ますと、遠足とは「学校行事の一環として、教師が生徒を引率して日帰り程度で校外に出かけること。」とありました。更に「日本では明治初期、いくつかの小学校が合同で運動会を開催していた頃、離れた小学校まで集団で歩いていくことを遠足と呼んだ。それが教育的意義を持つ学校行事となったのは、ヘルバルトの教育理論が輸入された1890年代以降である。現在、日本のように特別活動に位置づけられ、組織化された遠足が行われる国は多くはない。」と書かれていました。どうやら日本で当たり前のように行われている遠足は、世界のスタンダードではないようです。



本校のようにペア学年で遠足に行くと、上級生が下級生をしっかりサポートしてくれますし、上級生としての自覚が高まり、リーダー性が育つというよさがあります。



晴天に恵まれた今年の遠足、私は2年生と5年生の遠足に随行しました。5年生が2年生に指示をしたり、遊ぶ時も遠くに行かないように目配りをしてくれたりしている姿がたくさん見られました。

3年前や2年前のコロナ禍では真っ先に中止になっていた遠足ですが、遠足の一日で得られる力は大きいと感じました。